

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	安全良質な水の持続的供給のための革新的前処理－膜分離浄水システム
研究代表者	松井 佳彦（北海道大学・大学院工学研究院・教授）※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>超微粒子活性炭を用いた水の処理に関する研究をはじめ、これまでの応募者の研究業績は国際的に高い評価を得ている。本研究では、これらの処理技術を一層高度化するとともに、膜分離技術と組み合わせ、低質水源に対応可能な低消費エネルギーで低コストの浄水システムを創出することを目的としている。応募者の高い研究遂行能力から、大きな研究成果が期待できるとともに、世界の水問題への貢献も期待できる。本研究は世界の当該研究分野をリードするものであり、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>